

愛知県地震概況

令和6年（2024年）9月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

〇概況

1. 愛知県内で震度1以上を観測した地震の状況

9月に愛知県内で震度1以上を観測した地震が2回発生しました。

2. 愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震

①15日22時18分に愛知県西部でM3.3の地震（最大震度1 深さ41km）が発生しました。

②23日06時53分に静岡県中部でM3.9の地震（最大震度2 深さ31km）が発生しました。

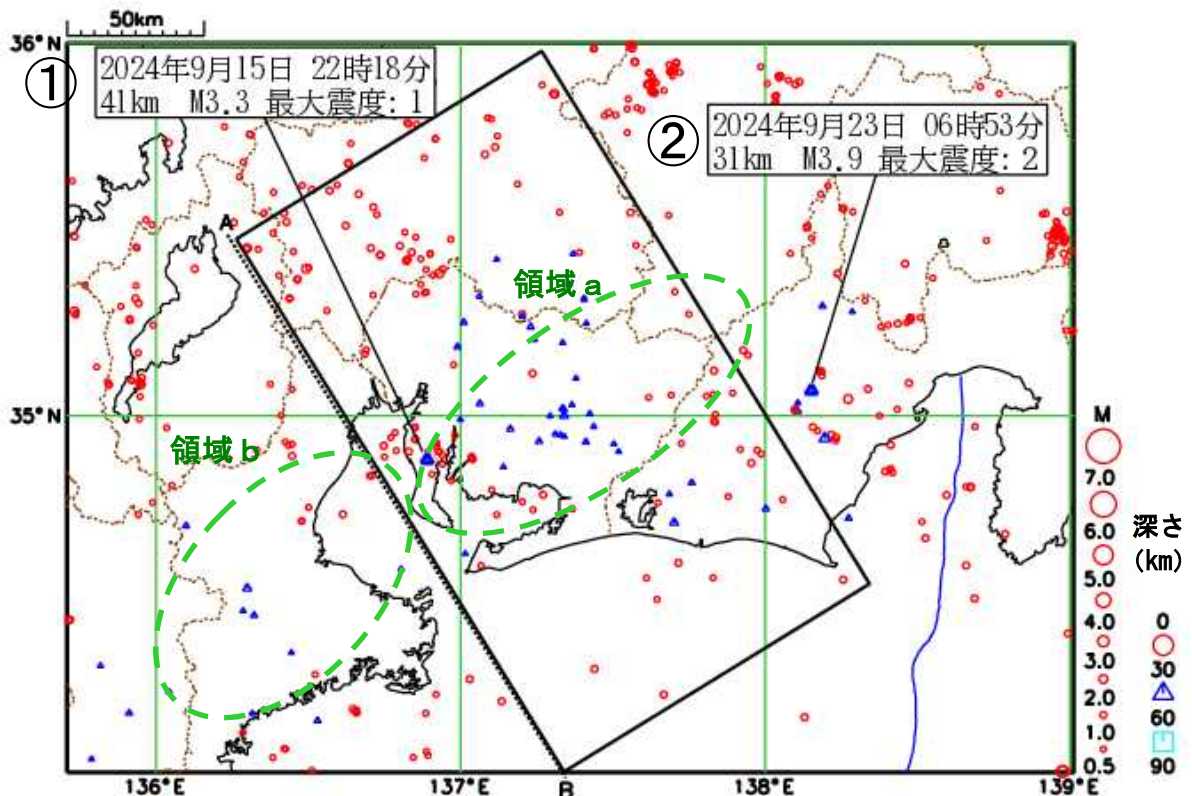
3. 深部低周波地震の活動状況

・東海（領域a）

特段の活動はなかった。

・紀伊半島北部（領域b）

6日、10日、15日、20日～21日、25日、30日

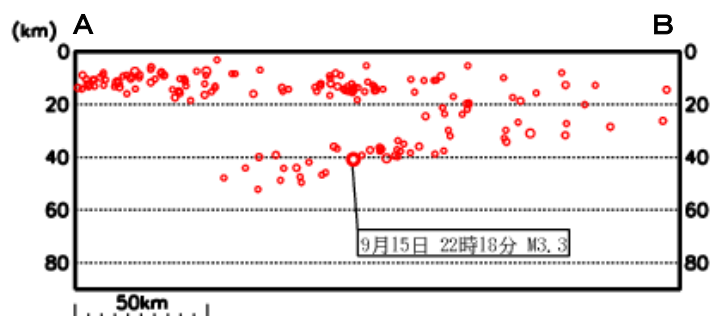


震央分布図（2024年9月1日～30日 深さ0～90km M≥0.5）

深部低周波地震（微動）

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。

（注）Mはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A－Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度 1 以上を観測した地震

愛知県西部（1 頁目震央分布図①）

9 月 15 日 22 時 18 分に愛知県西部で発生した M3.3 の地震（深さ 41km）により、愛知県岡崎市・碧南市・豊田市・安城市・西尾市・幸田町、三重県鈴鹿市、奈良県宇陀市で震度 1 を観測しました。（図 1）この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

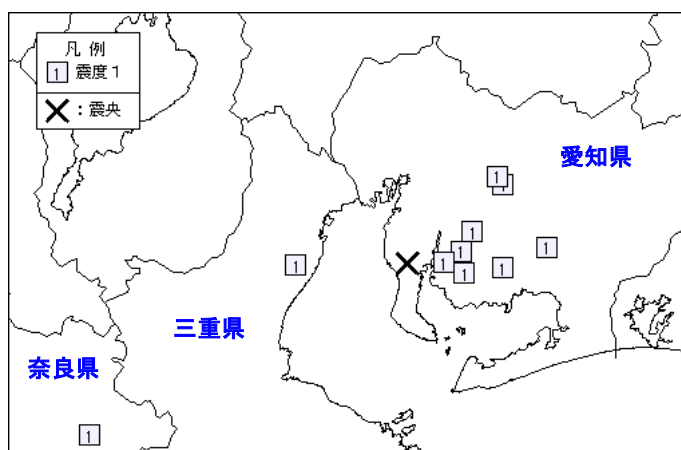


図 1 9 月 15 日 22 時 18 分 M3.3 震度分布図
（観測点別、×：震央）

静岡県中部（1 頁目震央分布図②）

9 月 23 日 06 時 53 分に静岡県中部で発生した M3.9 の地震（深さ 31km）により、静岡県静岡市駿河区・川根本町・浜松市天竜区で震度 2 を観測したほか、山梨県、静岡県、愛知県で震度 1 を観測しました。（図 2）

この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

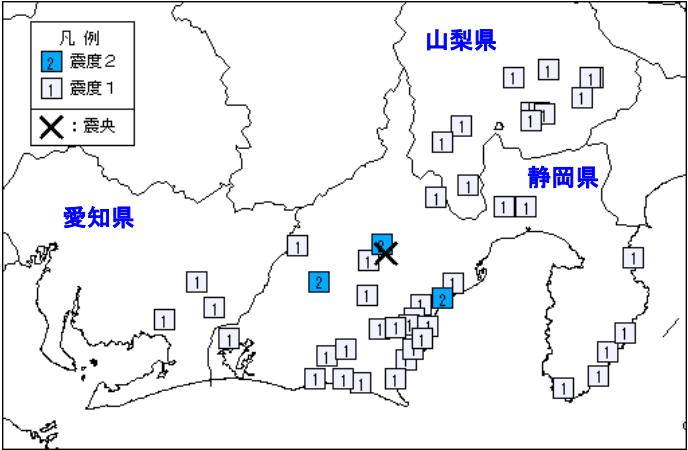


図 2 9 月 23 日 06 時 53 分 M3.9 震度分布図
（観測点別、×：震央）

○震度 1 以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度					
2024 年 09 月 15 日 22 時 18 分	愛知県西部	34° 52.8' N	136° 53.3' E	41km	M3.3
愛知県	震度 1：岡崎市榎山町＊，碧南市松本町＊，豊田市小坂本町，豊田市長興寺＊，安城市和泉町＊ 安城市横山町＊，西尾市矢曾根町＊，幸田町菱池＊				
2024 年 09 月 23 日 06 時 53 分	静岡県中部	35° 04.0' N	138° 09.0' E	31km	M3.9
愛知県	震度 1：豊川市赤坂町＊，新城市作手高里松風呂＊，新城市東入船＊				

（注 ＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『<https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html>』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

※2020 年 9 月以降に発生した地震を含む図については、2020 年 8 月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

11月5日（火）に緊急地震速報の訓練を行います

気象庁では、11月5日（火）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

●訓練実施日時

令和6年11月5日（火）10時00分頃

国の機関や地方公共団体（Jアラート経由）、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

●訓練への参加方法

- ・お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。放送が聞こえたら、身を守る行動をとりましょう。
- ・気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。
- ・緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず
係員の指示に従って！

シェイクアウト訓練

➤ シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。当日、シェイクアウト訓練が行われる自治体にお住まいの場合は積極的に参加してみましょう。



気象庁マスコットキャラクター「はれるん」
シェイクアウトキャラクター「クェイク」

詳しくは「緊急地震速報 訓練」で検索、または二次元バーコードから

緊急地震速報 訓練

